

# 令和8年度 特色選抜 合否判定基準

## 県立那覇高等学校

### 1 募集人員

普通科の募集定員（400名）の25%以内（100名以内）で、本校校長が定める。ただし、通学区外は10%以内（10名以内）。

### 2 出願要件

- （1）3ヵ年、無届けの欠席がないもの。
- （2）1年から3年までのすべての教科の評定平均が4.0以上のもの。

〈算出方法〉 評定平均 = (1年～3年までのすべての教科の評定の合計) ÷ 27  
(小数第2位を四捨五入)

### 3 選抜方法

選抜は、学力検査、調査書、実績を証明する資料、面接に基づき特色選抜入学予定者を決定する。ただし、学力検査の成績については一般選抜の学力検査（各教科配点60点）のうち、思考力を問う記述式問題以外の得点（各教科配点50点）を成績として取扱うものとする。

### 4 判定方法

- （1）圏の設定
  - ア A圏は、特色選抜募集人員の80%程度とする。
  - イ B圏は、特色選抜募集人員の110%程度とし、A圏の者を除く。
  - ウ C圏は、特色選抜全志願者からA圏、B圏の者を除く。
- （2）判定手順
  - ア A圏の者を審議する。
  - イ C圏の者を審議する。
  - ウ B圏の者を審議する。
  - エ 学区外の志願者については、募集定員の10%（10名）を超えないように合格者を決める。

### 5 実績に関するランク表について

本校ホームページ「高校入試情報」のページに掲載しておりますのでそちらを参照してください。

# 令和8年度 一般選抜 合否判定基準

## 県立那覇高等学校

### 1 募集人員

募集定員（400名）から特色選抜合格者を差し引いた人員。

※1 通学区域外許容人員=400名の10%以内（40名以内）

※2 一般選抜における通学区域外からの合格者許容人員  
=40名-（特色選抜合格者に占める通学区域外人員〔最大10名〕）

### 2 選抜方法

- (1) 選抜は、出身中学校長から提出された調査書、その他必要な書類、学力検査等の成績及び面接の結果を基に行う。
- (2) 調査書と学力検査等の成績の比重は「調査書：学力検査=4.5：5.5」とする。

### 3 判定方法

#### (1) 圏の設定

- ア A 圏は、一般選抜募集人員の80%程度とする。
- イ B 圏は、一般選抜募集人員の110%程度とし、A 圏の者を除く。
- ウ C 圏は、一般選抜全志願者からA 圏、B 圏の者を除く。

#### (2) 判定手順

- ア A 圏の者を審議する。
- イ C 圏の者を審議する。
- ウ B 圏の者を審議する。
- エ 学区外の志願者については、上記「1 募集人員 ※2」の数を超えないように合格者を決める。